

【2026年全国大会(学童・少年)肘検診について(3大会共通の指示書)】

- ◆対象：投手や捕手をする選手および、野手でも投手または捕手をする選手。(4年生～中学生)
- ◆人数：5名～6名とする。(全軟連からの補助対象人数は6名分を想定しています。)
- ◆補助金：1人最大5,000円まで助成する。(5,000円を超える場合は、チーム負担とする。)
 ※検診費の支払いは、一旦チームで立て替えること。
 ※1人5,000円上限×最大選手6名迄の30,000円までを全軟連が助成する。
※補助金の申請書類、領収書(写)は、監督主将会議等、大会時に提出すること。
- ◆期間：代表チームが決定後、**各大会が始まる1週間前までにそれぞれのチームで受検すること。**
- ◆チーム対応：チームはアンケート用と検診用の両方のGoogleフォームにて回答すること。
 病院に、必ず検診票(紙ベース)も持参しドクターに渡すこと。病院側でGoogleフォームに直接入力してもらうか、検診票に記載してもらうかはドクターの判断とする。
 ※検診用Googleフォームへの入力方法は「別紙1」を参照のこと。

【アンケートQRコード】

【検診用QRコード】



(※検診者が入力)



(※検診者と医師が入力)

◆検診フロー：

- ①チームは、所属の都道府県支部連盟(協会)と受検する医療機関を決める。
 医療機関を決めるにあたり、別紙「医療機関リスト」もしくは、チームのかかりつけ医療機関(医師)を決めること。なお、肘のエコー検査ができる医療機関を選定すること。
- ②医療機関・医師の決定後、所属の都道府県支部に報告すること。
 都道府県支部は、チームから医療機関名と医師名、受検者数等々の必要情報を聞いた上で、医療機関宛の依頼文を作成すること。(※依頼文の作成は、チームから要望があれば対応すること)
 ※依頼文のフォーマットは別途都道府県支部に送る。
- ③チームは、都道府県支部から依頼文を受け取り、医療機関・医師に持参し検査の受け入れと日程調整をすること。その際に、医師にて検診結果をGoogleフォームに入力可能か確認すること。
- ④検診日は、受検者(選手)により検診用QRコードを読み取り、Googleフォーム1ページ目の内容を入力し、医療機関においてGoogleフォームの2ページ目を入力してもらうこと。
 なお、医療機関でGoogleフォームへの入力ができない場合もあるため、添付の検診票も持参し、記入してもらってください。後日、チーム代表者がGoogleフォームに入力して頂いても結構です。
 但し、検診結果をチーム代表者が入力する場合には、医療機関で記入した検診票を写真またはPDFにて全軟連までメール提出すること。原本の提出は不要のため、各選手で保管すること。
- ⑤受検した選手分のアンケートと検診結果をGoogleフォームに入力したら、全てが完了となる。
- ⑥各大会のチーム受付時に、受検同意書、補助金申請書類、証憑類(領収書)を提出すること。

◆提出物

No,	内容	提出方法	備考
No, 1	受検同意書	写真もしくはPDFにてメール提出	※人数分の提出
No, 2	証憑類	各種大会会場の受付で提出すること	※人数分の提出
No, 3	補助金申請書	各種大会会場の受付で提出すること	
No, 4	アンケート・検診結果	Googleフォームにて回答 ※医師が検診票に手書きした場合は、検診票も写真もしくはPDFにてメール提出	※人数分の回答

※提出先・問い合わせ先メール：zennanren@jsbb.or.jp(全日本軟式野球連盟)

◆問い合わせ先：公益財団法人全日本軟式野球連盟 事務局 ※各大会担当者へ連絡すること。

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7 TEL:03-3404-8831/FAX:03-3479-2523